CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ▌使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要

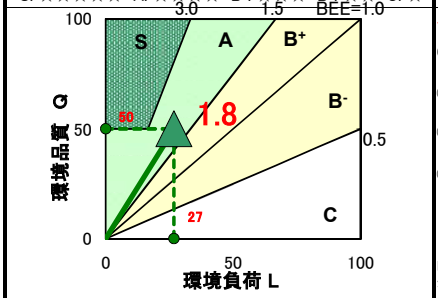
建物名称	(仮称)大気社愛川技術開発ｾﾝﾀｰ新築計画	階数	地上2F
建設地	愛甲郡愛川町三増359-8	構造	RC造
用途地域	市街化調整区域、志田三栗山風致地区・第4種風致地区	平均居住人員	25 人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,400 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年3月 予定	評価の実施日	2022年11月2日
敷地面積	4,959 ㎡	作成者	㈱銭高組一級建築士事務所
建築面積	1,498 ㎡	確認日	2022年11月2日
延床面積	2,649 ㎡	確認者	㈱銭高組一級建築士事務所

1-2 外観

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

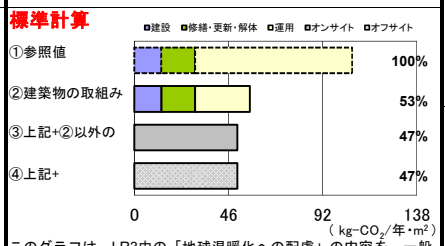
BEE =1.8 ★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



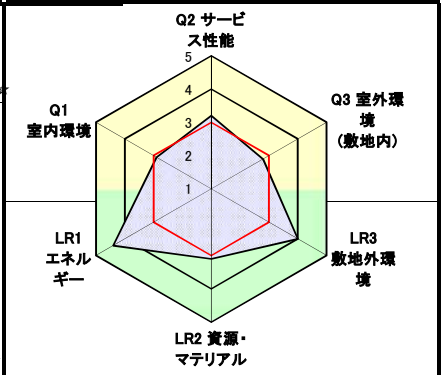
2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

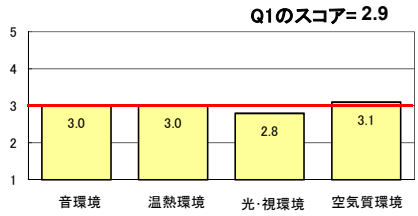
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



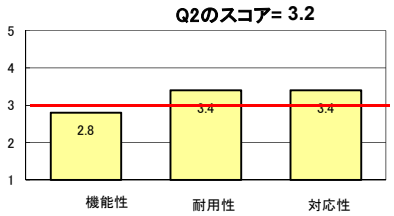
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 — Q のスコア= 3.0

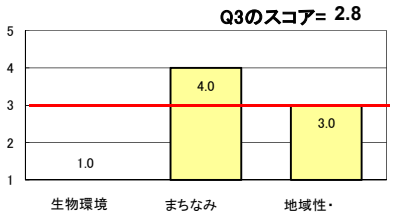
Q1 室内環境 — Q1のスコア= 2.9



Q2 サービス性能 — Q2のスコア= 3.2

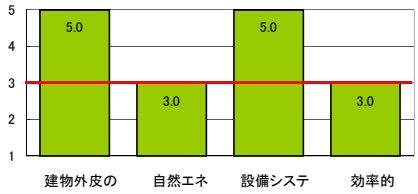


Q3 室外環境(敷地内) — Q3のスコア= 2.8

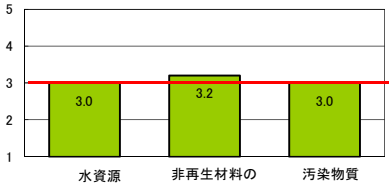


LR 環境負荷低減性 — LR のスコア= 3.9

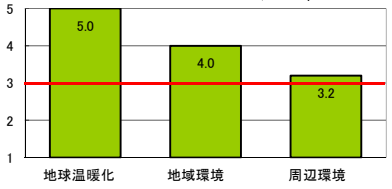
LR1 エネルギー — LR1のスコア= 4.4



LR2 資源・マテリアル — LR2のスコア= 3.1



LR3 敷地外環境 — LR3のスコア=4.0



3 設計上の配慮事項

総合

愛川町の市街化調整区域に、事務所単一用途の技術開発ｾﾝﾀｰを、RC造、2Fにて計画した。太陽光発電設備を設け、自然エネルギーの利用に努めた。

その他

0

Q1 室内環境

F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用
居室の人員の為の外気量30m3/h・人で計画した。

Q2 サービス性能

壁長さ比率は,0.1以上0.3以下にて計画した。
機械設備の耐震クラスAで計画した。

Q3 室外環境(敷地内)

風致地区内にあるため、高さ制限、色彩、緑地率等、条例に沿った配慮ある計画を行った。

LR1 エネルギー

BPIm=0.60、BEIm=0.27、LED照明設備を採用。

LR2 資源・マテリアル

躯体+軽鉄+仕上材のディテールを採用している。

LR3 敷地外環境

照明目的に合った照度を設定している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency(建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality(建築物の環境品質)、L: Load(建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction(建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency(建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO_2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO_2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される